

# 小倉工業北辰会報

編集兼発行  
北九州市小倉北区  
白萩町 6 - 1  
福岡県立小倉工業高校  
北辰会事務局  
TEL 093(571)1124  
FAX 093(583)4924

## 平成二十七年 度北辰会総会開催される



物故者追悼では、旧職員・同窓生ら平成二十六年 度中に亡くなられた方々三十三名(平成二十六年五月、平成二十七年五月判明分)のご冥福をお祈りして黙祷いたしました。

会長挨拶では、笹原裕明会長(昭和42年電子科卒)は、次のとおり述べました。「同窓会は卒業した皆さまがいろんな場所であらゆる重要な場でもあり、これらを通じて北辰会の活動を益々盛り上げていただければと思います」

「先日、母校の卒業式に参加させていただいた。すばらしい、きびきびとした雰囲気の中で卒業式が、三年間の高校生活の締めくくりに感動しながら、母校はがんばっているなとつくづく感じた」

平成二十七年 度小倉工業高等学校北辰会総会は、五月三十一日(日)に小倉飯店(北九州市小倉北区堺町)で開催されました。総会は例年五月第四日曜日に開催されてきましたが、今年度は諸般の事情により第五日曜日に変更されています。

今年度の当番幹事は平成四年と平成十六年卒業生が務めました。総会は川野年康氏(平成4年電気科卒)が司会し、竹川均副会長(昭和49年機械科卒)の開会の辞で始まり、

「今年度も皆さまのご協力をいただき、更に同窓会活動を充実していきたいと思っております。会員の皆さまを始めご列席いただきました方々のご支援、ご協力をよろしくお願ひする」

「最初に今年四月、(菊田工業高校)から小山繁教頭が、(ひびき高校)から山本孝広事務局長が着任されたことを紹介する」

「今年四月、二百名の生徒諸君が我が校を巣立っていった。この二百名の生徒というのには三年前に入学生徒で、それがそのまま卒業したのである。このことは県内でも我が校だけである。それくらい難しいことなのである。それを我が校はやり遂げる。そういうたすばらしい教育活動ができるということである。そして彼らは先輩諸氏の社会での活躍があつて、いち早く就職を決め、進学を決め卒業していった」

「四月には新たに二百名の新入生を迎え、一昨日まで英彦山で宿泊研修を行った。彼らもまた立派な倉工健児として育つてくれることを願っている」

次に、武藤修PTA会長によるPTA会長挨拶が、林勝男副会長(昭和45年機械科卒)による部活動後援会長挨拶がありました。

来賓紹介の後、平成四年卒当番幹事の恩師である三尾原玄洋氏(電気科担任)と同じく平成十六年卒当番幹事の恩師である佐藤博氏(電気科担任)がそれぞれ来賓祝辞を述べました。

総会議案審議では、恒例により笹原裕明会長が指名されて議長を務めました。坂田智之事務局長(昭和36年機械科卒)から平成二十六年 度事業報告および決算報告、そして平成二十七年 度事業計画案および予算案が一括して提案されました。

「今年度も皆さまのご協力をいただき、更に同窓会活動を充実していきたいと思っております。会員の皆さまを始めご列席いただきました方々のご支援、ご協力をよろしくお願ひする」

「最初に今年四月、(菊田工業高校)から小山繁教頭が、(ひびき高校)から山本孝広事務局長が着任されたことを紹介する」

「今年四月、二百名の生徒諸君が我が校を巣立っていった。この二百名の生徒というのには三年前に入学生徒で、それがそのまま卒業したのである。このことは県内でも我が校だけである。それくらい難しいことなのである。それを我が校はやり遂げる。そういうたすばらしい教育活動ができるということである。そして彼らは先輩諸氏の社会での活躍があつて、いち早く就職を決め、進学を決め卒業していった」

次に、武藤修PTA会長によるPTA会長挨拶が、林勝男副会長(昭和45年機械科卒)による部活動後援会長挨拶がありました。

来賓紹介の後、平成四年卒当番幹事の恩師である三尾原玄洋氏(電気科担任)と同じく平成十六年卒当番幹事の恩師である佐藤博氏(電気科担任)がそれぞれ来賓祝辞を述べました。

総会議案審議では、恒例により笹原裕明会長が指名されて議長を務めました。坂田智之事務局長(昭和36年機械科卒)から平成二十六年 度事業報告および決算報告、そして平成二十七年 度事業計画案および予算案が一括して提案されました。

卒業したのである。このことは県内でも我が校だけである。それくらい難しいことなのである。それを我が校はやり遂げる。そういうたすばらしい教育活動ができるということである。そして彼らは先輩諸氏の社会での活躍があつて、いち早く就職を決め、進学を決め卒業していった」

「四月には新たに二百名の新入生を迎え、一昨日まで英彦山で宿泊研修を行った。彼らもまた立派な倉工健児として育つてくれることを願っている」

次に、武藤修PTA会長によるPTA会長挨拶が、林勝男副会長(昭和45年機械科卒)による部活動後援会長挨拶がありました。

来賓紹介の後、平成四年卒当番幹事の恩師である三尾原玄洋氏(電気科担任)と同じく平成十六年卒当番幹事の恩師である佐藤博氏(電気科担任)がそれぞれ来賓祝辞を述べました。

総会議案審議では、恒例により笹原裕明会長が指名されて議長を務めました。坂田智之事務局長(昭和36年機械科卒)から平成二十六年 度事業報告および決算報告、そして平成二十七年 度事業計画案および予算案が一括して提案されました。

総会議案審議では、恒例により笹原裕明会長が指名されて議長を務めました。坂田智之事務局長(昭和36年機械科卒)から平成二十六年 度事業報告および決算報告、そして平成二十七年 度事業計画案および予算案が一括して提案されました。

## ご挨拶



師走に入り慌ただしい季節となりましたが、会員の皆様におかれましては、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃からの母校並びに同窓会北辰会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。

今年度は母校も創立百十六年を迎え、創立百二十年に向けて折り返しの年である姿を見て、母校健在なりと実感しています。その後輩達の姿が、学校の教育活動の集大成でもある体育大会の様子がインターネットを通して全国に生中継され、多くの方々から激励や感動の言葉をもらっています。

「無法松の一生(富島松五郎伝)」の作家岩下俊作先輩が小説の中で紹介した、倉工の伝統行事である雄々しき勇士の運動会」を

引き続きです。そして、この生中継の裏方は、卒業生の技術軍団が遠くは東京からも来て頂き、プロの手でネットワーク中継する極めつきであります。また、終了を飾る仕掛け花火も、卒業生の花火師の方に協力してもらっています。このように全国でご活躍されている同窓の皆様を支えられながら母校では素晴らしい活動がなされています。

同窓の皆様が更に広がりを強く出来るように頑張っていきたいと思っております。会員の皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成二十七年十一月二十三日

平成二十六年 度教育振興基金報告

以上平成二十六年 度事業に使用させていただきまし

平成二十六年 度教育振興基金の活動に充てさせていただきます。

第二十二回オープンゴルフ大会開催

第二十二回北辰会オープンゴルフ大会が平成二十七年十月二十三日(金)鷹羽ロイヤルカントリークラブ(田川郡大任町)に於いて八時から行われました。

当日の収益金は母校教育振興基金へ寄付させていただきました。

入賞者は次のとおりです。

【男性の部】  
優勝 谷口 拓也(二般)  
準優勝 前川 明(二般)  
三位 高田 毅(二般)  
ベストクロス 前川 明 82

【女性の部】  
優勝 坪井 麻美(二般)  
準優勝 林 順子(二般)  
三位 佐藤千代美(二般)  
ベストクロス 坪井 麻美 92

【名簿改訂のお知らせ】  
北辰会では五年毎に名簿の改訂を行っています。

【二十八年度総会のお知らせ】  
平成二十八年度北辰会総会は、五月二十九日(日)小倉飯店にて行います。



母校昭和四十年卒業五十周年記念同窓会を開催して

去る十月二十五日(日)に昭和四十年卒業生三十名が見学のため、懐かしの母校に集合しました。

他の五十名の諸君は直接懇親会場の小倉リーセントホテルに、開始時間までに随時集合しました。五十年の歳月は童顔の少年から白髪頭のお爺さんに見事変身してました。各集合場所では当時のアルバムと見比べて、やっと「オーお前か!」と叫ぶ声が起こり、雰囲気が一変し瞬間に当時に戻りました。

学校の変貌ぶりにも更に驚きました。当時は校内外は美的にも決して整ってなく、下駄箱や自転車置き場の整理整頓はお世辞にも立派とは言えない状況であつたと記憶しています。しかし、今回の見学会でこれらの場所はすべて、見事に改善されており、学校関係者の奮闘努力が覗えました。

また、生徒諸君に対する「躰」・「指導」の効果も合わせて実感することができました。

更に、我々の頃はプールもなく、隣の板櫃中学校の設備をお借りして水泳の授業を受けたことも懐かしく思い出しました。

各校舎の変貌ぶりには、更に驚かされました。



篠崎時代の歴史ある赤煉瓦の校門や、正面玄関の歴史を感じさせる建物など、また、学校後輩の世界的グラフィックデザイナーのサイトウ・マコト氏(斉藤誠・昭和47年工業化学科卒)のミニメントも、出席者同「大感激」すると共に、一〇〇年以上の伝統の重みと誇りで胸一杯になりました。

懇親会では懐かしい先生方、校長先生、北辰会関係者の臨席を賜り、大いに賑わいました。遠くは北海道から鹿児島まで、全国の同窓生が駆けつけてくれました。懐かしい、楽しい時間の経つのは早いもので、最後に校歌斉唱と万歳三唱で無事、お開きとなりました。

次回は喜寿に再会するという強い意志のもと三々五々別れました。「後輩諸君に一言申し上げます」人生は一度きりです。また、色々です。生徒諸君はこの学校に誇りを持って、自身自身の進路を明確に、社会人諸君は自己主張とPDCAを常に回し、これからの荒波に立ち向かって「人生の勝者」となるべく、努力してください。

最愛の同窓生諸君!これからも健康に留意し、必ず再会を約束しましょう。最後にありますが、今後の母校の益々のご発展とご繁栄を衷心より祈念いたします。

また、今回の集いで若干の寄付をすることができました。合わせてご報告いたします。

関係者のすべての皆様、本当にありがとうございます。幹事代表 奥村正則 (昭和40年機械科卒)

就職状況

今年度、福岡県内の高校新卒者の九月末現在の求人・求職等状況(福岡労働局発表)は、求人数は前年同月比で二八・〇%増加し、就職内定率は四八・四%と平成五年以降最高になったと発表されました。

その中で本校は、求人数は前年同月比で四・八%増加し、就職内定率は七四・〇%となりました。求人数については、大幅に増加することはなかったのですが、内定状況は格段に向上し、一次試験内定率が九一・九%(昨年より七二・二ポイント上昇)で、十一月九日には就職希望者全員の内定をいただき、就職内定一〇〇%を達成

することができました。この成果は、同窓の皆様各企業や各職場での活躍と本校への温かいご支援によるところが大変大きいと感謝しています。さらには、先輩諸氏から引き継がれている倉工魂で、一人一人が高い進路意識を持って取り組んできた成果だと思えます。

本校職員は、今後次年度に向けて、二年生、一年生の進路実現に向け、全職員で指導してまいります。

就職希望者 一七五名  
内定者 一七五名  
県内 九三名  
県外 八二名  
内定率 一〇〇%  
公務員希望者 なし  
進学希望者 一八名  
合計 一九三名  
十一月九日現在

吹奏楽部定期演奏会へのご案内

第十回吹奏楽部定期演奏会が平成二十八年一月三十一日(日)、「北九州市ウエルとばた」(大ホール)にて、十三時三十分(開場は十三時)より開催されます。

部員は少なくはなりませんが、九州大会をめざし、日々の練習をしています。その成果を吹奏楽コンクールで大いに発揮してくれることと確信しています。

定期演奏会は入場料無料ですので、皆様には奮ってご鑑賞頂きますようお願い申し上げます。

開催にあたり北辰会の皆様を始め学校関係者の方々に、吹奏楽部員(生徒・指導者等)からの広告などの支援依頼がありまして、出費多端な折り誠に恐縮ではございますが、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成26年度にご逝去された方々

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。(平成26年5月11日より平成27年5月10日までに連絡のあった方々)

Table listing deceased members with columns for name, position, and date of death.

平成26年度 北辰会決算書 及び 平成27年度 予算案 (単位:円)

Main financial statement table with columns for income, expenses, and balance.

平成26年度北辰会定期総会決算書 (平成3年・平成15年卒当番幹事) (単位:円)

Summary financial statement for the regular general meeting.

基金会計 (平成26年4月1日~平成27年3月31日) (単位:円)

Summary financial statement for the fund accounting.

名簿積立金 (平成26年4月1日~平成27年3月31日) (単位:円)

Summary financial statement for the name book fund.

平成26年度教育振興基金 (一般会計) 決算書 (単位:円)

Summary financial statement for the education promotion fund (general account).

平成26年度教育振興基金 (特別会計) 決算書 (単位:円)

Summary financial statement for the education promotion fund (special account).